

政策名	1グローバルロジスティクスの港		責任者	港営部 海務課長	連携担当課
基本施策名	01国際・国内海上輸送機能の強化				
個別施策名	06船舶の安全かつ円滑な入出港を確保する		連絡先	052-654-7880	
事務事業名	04無線通信事務				

1 PLAN(目的・概要)

目的	入出港船舶及び港湾関係者に安全で効率的な船舶航行を促し、円滑な港湾利用に寄与します。	事業期間	昭和26年度～継続
概要	名古屋港入出港船舶と国際VHF無線電話(ポトラジオ)により通信を行い、本船動静情報の入手や水先人、タグボート、係留施設、荷役状況等の情報提供を行います。	根拠法令・要綱等	名古屋港管理組合港湾施設条例及び同施行規則
		実施義務	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無

2 DO(実施)

22年度の実施内容 【及び23年度の実施予定】	・取り扱う通信の内容は、伊良湖水道通過時刻情報、港外や高潮防波堤の到着予定時刻情報、アンカー位置・時刻情報、水先人乗船情報、タグボート情報、スケジュール情報、係留施設の空き情報、気象情報等です。								
活動指標	年度	19	20	21	22	23	中間目標	24	備考(指標の算定方法など)
無線通信回数	単位	目標	-	-	-	-	-	-	
	回	実績	19,829	17,492	17,992	20,161			
	単位	目標							
		実績							
事業費	千円	7,006	7,116	7,016	7,016	7,027			
人員	正規職員	人	6.40	6.40	6.40	6.40	6.40		
	嘱託職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
人件費相当額	千円	55,584	56,128	54,925	54,278	56,109			
事業費・人件費の合計	千円	62,590	63,244	61,941	61,294	63,136			

3 CHECK(検証)

決算ベース(H22は見込) ← → 予算ベース

成果指標	年度	19	20	21	22	23	中間目標	24	備考(指標の算定方法など)
適正な通信対応回数率	単位	目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	適正な通信対応回数÷無線通信回数
	%	実績	100.0	100.0	100.0	100.0			
	達成率(%)		100.0	100.0	100.0	100.0			
	単位	目標							
		実績							
	達成率(%)								
観点	課題の有無	現状の「見える化」							その他特記事項
必要性	組合関与の必要性	有・ <input type="radio"/> 無							
	目的・水準の妥当性	有・ <input type="radio"/> 無							
有効性	利用者などの対象者ニーズ	有・ <input type="radio"/> 無							
	成果の達成度	有・ <input type="radio"/> 無							
効率性	内容の妥当性	有・ <input type="radio"/> 無							
	実施主体の妥当性	有・ <input type="radio"/> 無							
	受益者負担の適正性	有・ <input type="radio"/> 無							
	経済性	有・ <input type="radio"/> 無							

4 ACTION(取組)

今後の事務事業の方向性	今後の取組の方向性		今後の取組の方向性の判断理由
継続	成果	コスト	適正に業務が行われているが、他港の状況も参考にし、利用者のニーズにあった効率的な対応が必要と思われるため。
	維持	縮小	
今後の取組内容(改善策、スケジュールの建て直し等)			
名古屋港無線局のあり方について、引き続き26年度末を目途に検討していきます。			